

Cariot Ver2.11 リリースノート

- 車両利用実績の日報および月報の一括ダウンロード機能 (1)
- リスト ビューの初期表示の設定を改善 (2)
- Felica でタッチ忘れが発生した際の挙動を変更 (3)

車両利用実績の日報および月報の 一括ダウンロード機能 (1 - 1/4)

■ 課題 (要望)

- 車両利用実績を一括でダウンロードしたい。
- 車両ごと/ドライバーごとにダウンロードしていると時間と手間がかかる。

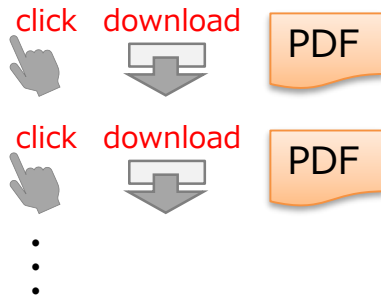
■ 改善点 (対応内容)

- すべての車両/ドライバーの車両利用実績を一括でダウンロードできる機能を追加しました。
- これにより車両利用実績を PDF 出力する工数が低減できます。

* データ件数が多い場合は複数の PDF ファイルに分割して出力されます。

* また、処理件数が多いと、すべての PDF 出力までに 5 分程度の時間を要することがあります。

車両またはドライバーごとに、...



クリック、ダウンロードを繰り返し操作

すべての車両、
すべてのドライバーを
一括ダウンロード



車両利用報告書							
年月	2019/01	走行時間[分]	0	走行距離[km]	0.0		
車両名	Android-482138678498290304の車両						
車両番号							
年月日	走行距離[km]	走行時間[分]	開始	終了	走行数	最高速度[km/h]	
2019/01/01 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/02 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/03 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/04 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/05 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/06 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/07 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/08 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/09 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/10 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/11 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/12 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/13 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/14 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/15 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/16 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/17 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/18 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/19 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/20 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/21 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--


運転月報							
年月	2019/01	走行時間[分]	3,084	走行距離[km]	172.9		
所属							
ドライバー名	(不明)						
年月日	走行距離[km]	走行時間[分]	開始	終了	走行数	最高速度[km/h]	
2019/01/01 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/02 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/03 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/04 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/05 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/06 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/07 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/08 (日)	0.4	2,034	02:26	13:48	3	46.0	
2019/01/09 (日)	172.5	1,050	07:08	13:48	4	106.0	
2019/01/10 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/11 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/12 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/13 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/14 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/15 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/16 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/17 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/18 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/19 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/20 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--
2019/01/21 (日)	利用なし	--	--	--	--	--	--

車両利用実績の日報および月報の 一括ダウンロード機能 (1 - 2/4)

一括ダウンロードの手順

ご利用の表示テーマ (LEX または Classic) に合わせて、以下の操作手順をご確認ください。

LEX

1. 画面 左上の  が並んでいるアイコンをクリックします。
2. 車両利用報告書、または運転日報をクリックします。
 - * 車両単位の利用実績は「車両利用報告書」を選択
 - * ドライバー単位の利用実績は「運転日報」を選択



Classic

1. 画面 上部の [+] アイコンをクリックします。
2. 車両利用報告書、または運転日報をクリックします。
 - * 車両単位の利用実績は「車両利用報告書」を選択
 - * ドライバー単位の利用実績は「運転日報」を選択



車両利用実績の日報および月報の 一括ダウンロード機能 (1 - 3/4)

一括ダウンロードの手順 (車両利用報告書)

LEX および Classic での操作手順は共通です。車両単位の利用実績を PDF で出力することが可能です。

車両利用報告書の日報

車両利用報告書
2019年01月09日分
8 個の項目

2019/01/09

[すべて出力] [月報]

	車両名 ↓	走行数	走行距離[km]	走行時間[分]	出力
1	atrack-201711140003の車両	1	0.2	111	
2	atrack-201804180001の車両	1	0.0	473	

[すべて出力] ボタンをクリックすると、その日のすべての日報を一括出力します。

[月報] ボタンをクリックすると、日報の一覧から月報の一覧に切り替わります。

車両利用報告書の月報

車両利用報告書
2019年01月分
50+ 個の項目

2019/01

[すべて出力] [日報]

	車両名 ↓	走行数	走行距離[km]	走行時間[分]	出力
1	AL7-359739071721922の車両	0	0.0	0	
2	AS1-352739090138303の車両	0	0.0	0	
3	AS3-352648069559607の車両	0	0.0	0	

[すべて出力] ボタンをクリックすると、その月のすべての月報を一括出力します。

[日報] ボタンをクリックすると、日報の一覧から月報の一覧に切り替わります。

各行の出力ボタンをクリックすると、1件ごとに PDF 出力することも可能です。

車両利用実績の日報および月報の 一括ダウンロード機能 (1 - 4/4)

一括ダウンロードの手順 (運転日報・運転月報)

LEX および Classic での操作手順は共通です。ドライバー単位の利用実績を PDF で出力することが可能です。

運転日報

運転日報
2019年01月09日分
2 個の項目

2019/01/09

[すべて出力] [月報]

	ドライバー名 ↓	走行数	走行距離[km]	走行時間[分]	出力
1	社員1	1	2.4	125	[出力]
2	(不明)	7	312.8	1915	[出力]

[すべて出力] ボタンをクリックすると、その日のすべての日報を一括出力します。

[月報] ボタンをクリックすると、日報の一覧から月報の一覧に切り替わります。

運転月報

運転月報
2019年01月分
2 個の項目

2019/01

[すべて出力] [日報]

	ドライバー名 ↓	走行数	走行距離[km]	走行時間[分]	出力
1	社員1	2	2.7	842	[出力]
2	(不明)	10	319.4	4075	[出力]

[すべて出力] ボタンをクリックすると、その月のすべての月報を一括出力します。

[日報] ボタンをクリックすると、日報の一覧から月報の一覧に切り替わります。

各行の出力ボタンをクリックすると、1 件ごとに PDF 出力することも可能です。

■ 課題 (要望)

- リスト ビューで初期表示されるリストが意図したものではない場合がある。
- リスト ビューで初期表示されるリストを固定したい。

■ 改善点 (対応内容)

- 既定で表示されるリスト ビューの挙動を、最後に見たリストが初期表示されるように変更
- 初期表示されるリストをあらかじめ指定できる機能を追加 (* 注意)
注意 : 初期表示されるリストの指定機能は、Salesforce の Spring'19 で提供が予定されています。Spring'19 リリース以降は Salesforce が提供する機能の利用を推奨します。

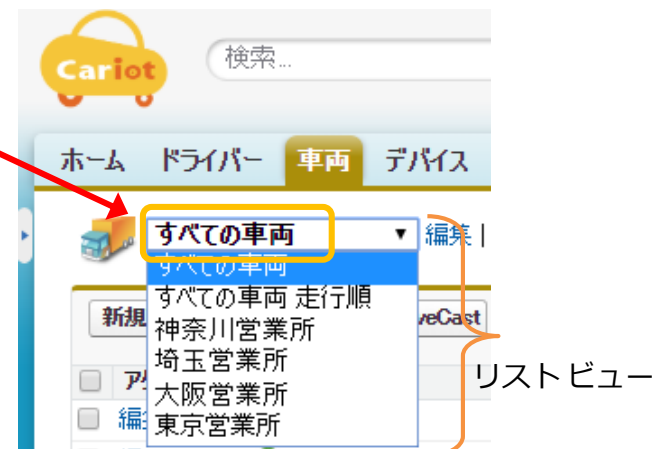
LEX



ココで表示されるリストが、最後に見たリストで固定されます。

例えば「神奈川営業所」を選択して、[ドライバー] メニューに移動し、再度 [車両] メニューに戻ると、「神奈川営業所」リストが初期表示されます。

Classic



Felica でタッチ忘れが発生した際の挙動を変更 (3 - 1/10)

■ 対象機種

ER2 (Ecomott ER2 : ドライブ レコーダー・シガー ソケット、Felica 内蔵、インカメラ対応)

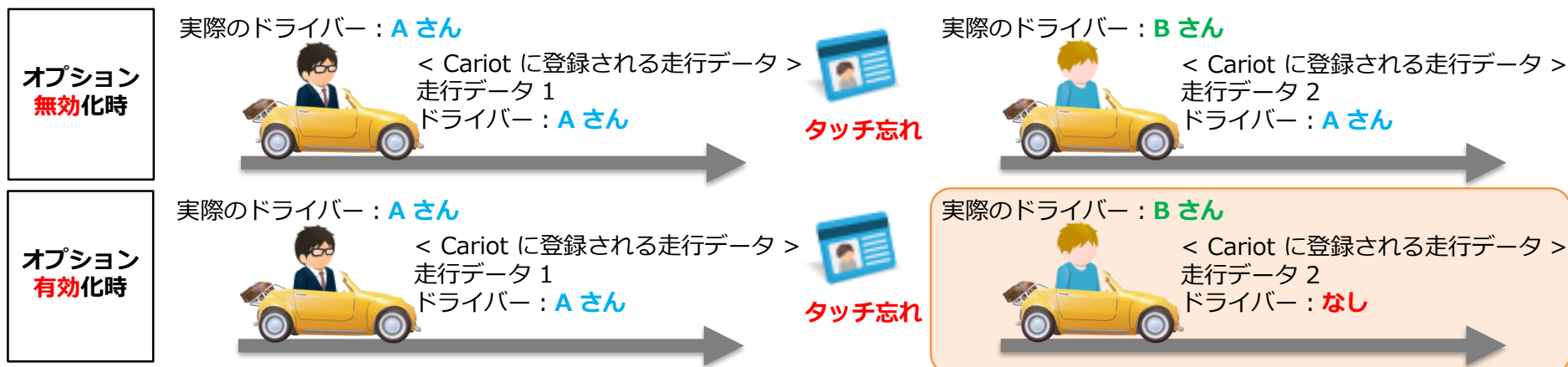
■ 課題 (要望)

- Felica でタッチを忘れた場合などに作られる走行データのドライバーが正しく設定されない。(前回走行したドライバーが引き継がれてしまう)

■ 改善点 (対応内容)

- 走行データへの「ドライバー設定ルールを変更する」オプションを追加しました。
- オプション有効化時は Felica でタッチを忘れた場合などに、走行データにドライバーが設定されないように設定ルールを変更しました。(* 注意)

注意 : 「走行データの分割設定」の最小間隔が過ぎる前に、Felica のタッチを忘れ、かつ新たな走行を開始した場合は、前回のドライバーが継続走行したと見なされます。



Felica でタッチ忘れが発生した際の挙動を変更 (3 - 2/10)

オプションを有効化する手順

① Cariot Ver2.11 以降をインストールします。

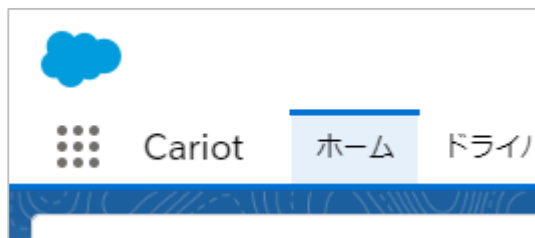
* [「コチラ」](#) から Cariot の最新バージョンをインストールしてください。

② レイアウトを変更します。

* ご利用の表示テーマ (LEX または Classic) に合わせて、次ページ以降の操作手順をご確認ください。

LEX ユーザの場合

Cariot の画面 左上の表示が以下である場合は LEX の表示テーマとなります。



『走行データへの「ドライバー設定ルールを変更する」オプションの追加 (3 - 3/10)』から『走行データへの「ドライバー設定ルールを変更する」オプションの追加 (3 - 6/10)』をご確認ください。

本ドキュメントの 10 ページから 13 ページに該当します。

Classic ユーザの場合

Cariot の画面 左上の表示が以下である場合は Classic の表示テーマとなります。

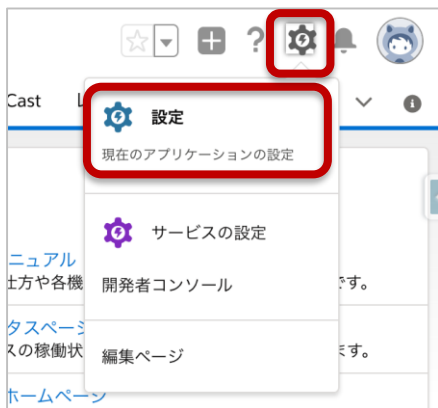


『走行データへの「ドライバー設定ルールを変更する」オプションの追加 (3 - 7/10)』から『走行データへの「ドライバー設定ルールを変更する」オプションの追加 (3 - 10/10)』をご確認ください。

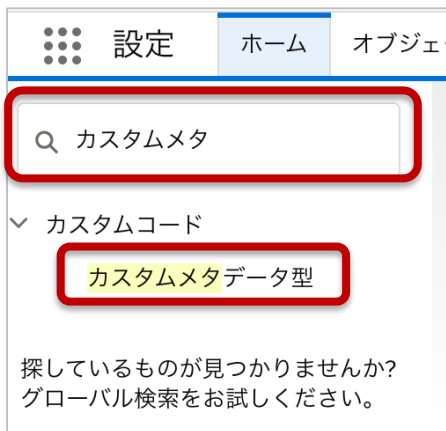
本ドキュメントの 14 ページから 17 ページに該当します。

オプションを有効化する手順 (LEX)

カスタム メタデータ「UnsetTripDriverIfNoDriverSignal」の値を「UNSET」に変更します



1. 画面 右上の歯車のアイコンをクリックし、表示されたメニューから [設定] をクリックします。



2. 画面 左上の検索ボックスに「カスタムメタ」と入力し、検索を実行します。次に、検出された [カスタム メタデータ型] をクリックします。

オプションを有効化する手順 (LEX)

The screenshot shows the 'Custom Metadata Type' settings page. The left sidebar has 'Custom Metadata Type' selected. The main content area has a search bar and a list of metadata types. The first entry is highlighted with a red box around the 'Records Management' link.

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	名前空間プレフィックス	表示	API 参照
レコードの管理	Cariotアプリケーション設定	CariotCore	Cariot	公開	Cariot
レコードの管理	複数動画像表示設定	CariotCore	Cariot	公開	Cariot

3. カスタム メタデータ型の一覧から「Cariot アプリケーション設定」の [レコードの管理] をクリックします。

Felica でタッチ忘れが発生した際の挙動を変更 (3 - 5/10)

オプションを有効化する手順 (LEX)

設定
カスタムメタデータ型

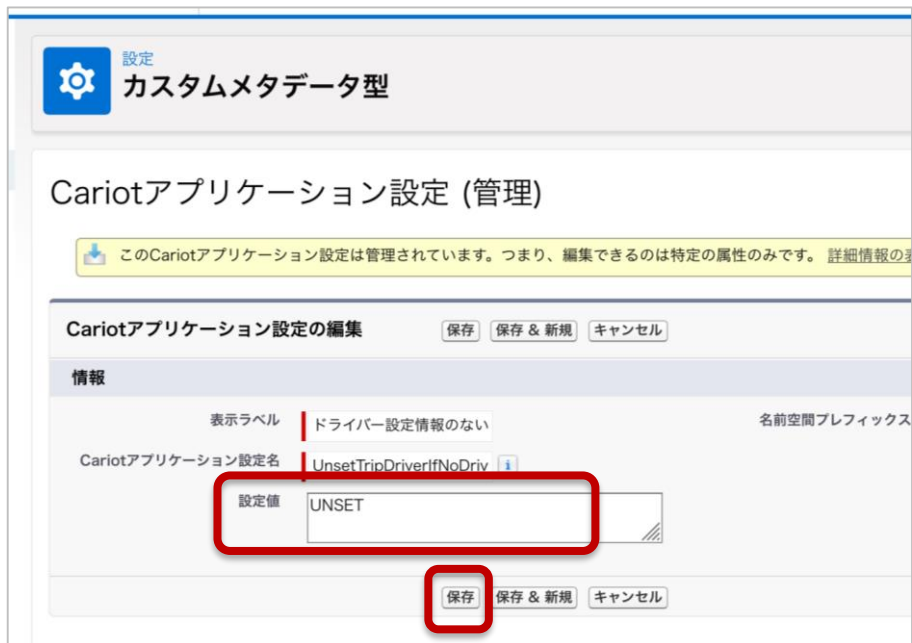
Cariotアプリケーション設定

ビュー: すべて 新規ビューの作成

アクション	表示ラベル ↑	Cariotアプリケーション設定名
編集	カラ運行予定自動検出有効化 (true/false)	VehicleRsvEmptyCheckEnable
編集	カラ運行予定自動検出経過時間 (分)	VehicleRsvEmptyCheckMinutes
編集	ドライバー稼働可能時間: 土 (分)	DriverUptimeSat
編集	ドライバー稼働可能時間: 日 (分)	DriverUptimeSun
編集	ドライバー稼働可能時間: 月 (分)	DriverUptimeMon
編集	ドライバー稼働可能時間: 木 (分)	DriverUptimeThu
編集	ドライバー稼働可能時間: 水 (分)	DriverUptimeWed
編集	ドライバー稼働可能時間: 火 (分)	DriverUptimeTue
編集	ドライバー稼働可能時間: 金 (分)	DriverUptimeFri
編集	ドライバー設定情報のない走行データにドライバーを設定しない	UnsetTripDriverIfNoDriverSignal
編集	新規運行予定ドライバーデフォルト設定有効化 (true/false)	VehicleRsvSetDriverDefaultEnable
編集	日次集計: データ保持日数	TripAggregateDataRetentionDays
編集	月次集計: 駐車場内判定距離 [km]	ParkingAreaRadius

4. Cariot アプリケーション設定の一覧から、「UnsetTripDriverIfNoDriverSignal」の [編集] をクリックします。

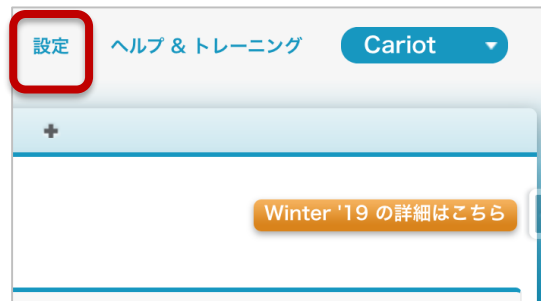
オプションを有効化する手順 (LEX)



5. [設定値] ボックスに「UNSET」と入力し、[保存] ボタンをクリックします。

オプションを有効化する手順 (Classic)

カスタム メタデータ「UnsetTripDriverIfNoDriverSignal」の値を「UNSET」に変更します



1. 画面 右上のメニューから [設定] をクリックします。



2. 画面 左上の検索ボックスに「カスタムメタ」と入力し、検索を実行します。次に、検出された [カスタム メタデータ型] をクリックします。

オプションを有効化する手順 (Classic)



ホーム ドライバー 車両 デバイス 走行データ ルート エリア 運行予定/実績 DriveCast レ...

クイック検索/検索... 

すべて展開 | すべて折りたたむ

 Lightning Experience
移行アシスタント
最新のインテリジェントな
Salesforce に切り替えます。
[使用を開始する](#)

Salesforce モバイルクイックスタート

ホーム

管理

すべてのカスタムメタデータ型

カスタムメタデータ型では、レコードがデータではなくメタデータになる独自パッケージ化、およびインストールが必要なアプリケーション設定を定義するため

カスタムオブジェクトまたはカスタム設定でデータレコードからアプリケーションコードを追加できます。この方法では、メタデータのすべての管理可能性 (パッケージをクエリしても、SOQL 制限にカウントされません)。

[新規カスタムメタデータ型](#)

アクション	表示ラベル	インストール済みパッケージ	名前空間プレフィックス
レコードの管理	Cariotアプリケーション設定	CariotCore	Cariot

3. カスタム メタデータ型の一覧から「Cariot アプリケーション設定」の [レコードの管理] をクリックします。

Felica でタッチ忘れが発生した際の挙動を変更 (3 - 9/10)

オプションを有効化する手順 (Classic)


アクション	表示ラベル +	Cariotアプリケーション設定名
編集	📄 カラ運行予定自動検出有効化 (true/false)	VehicleRsvEmptyCheckEnable
編集	📄 カラ運行予定自動検出経過時間 (分)	VehicleRsvEmptyCheckMinutes
編集	📄 ドライバー稼働可能時間:土 (分)	DriverUptimeSat
編集	📄 ドライバー稼働可能時間:日 (分)	DriverUptimeSun
編集	📄 ドライバー稼働可能時間:月 (分)	DriverUptimeMon
編集	📄 ドライバー稼働可能時間:木 (分)	DriverUptimeThu
編集	📄 ドライバー稼働可能時間:水 (分)	DriverUptimeWed
編集	📄 ドライバー稼働可能時間:火 (分)	DriverUptimeTue
編集	📄 ドライバー稼働可能時間:金 (分)	DriverUptimeFri
編集	📄 ドライバー設定情報のない走行データにドライバーを設定しない	UnsetTripDriverIfNoDriverSignal
編集	📄 新規運行予定ドライバーデフォルト設定有効化 (true/false)	VehicleRsvSetDriverDefaultEnable
編集	📄 日次集計: データ保持日数	TripAggregateDataRetentionDays
編集	📄 月次集計: 駐車場内判定距離 [km]	ParkingAreaRadius
編集	📄 走行データ中の最大プロット件数	TripViewerMaxPlotCount

4. Cariot アプリケーション設定の一覧から、
「UnsetTripDriverIfNoDriverSignal」の
[編集] をクリックします。

オプションを有効化する手順 (Classic)

デバイス 走行データ ルート エリア 運行予定/実績 DriveCast レポート


Cariotアプリケーション設定 (管理)

 このCariotアプリケーション設定は管理されています。つまり、編集できるのは特

Cariotアプリケーション設定の編集

保存 保存 & 新規 キャンセル

情報

表示ラベル	ドライバー設定情報のない
Cariotアプリケーション設定名	UnsetTripDriverIfNoDriv 
設定値	UNSET

保存 保存 & 新規 キャンセル

5. [設定値] ボックスに「UNSET」と入力し、[保存] ボタンをクリックします。